

キリスト教学Ⅰ		前期 2 単位	1年
イエスはどのような人。聖書はどんな本。キリスト教と現代どうい う関係。		シェロ マイク (SHERRILL, M. J.)	
ねらい	キリスト教の由来、イエス・キリストの存在と教え、聖書を通して見られる神、そして、キリスト教信仰の内容につ いての根本的なことが理解出来るようになることを目指します。		
授業計画	【前期】 第1回 コース紹介 第2回 ナザレのイエス 第3回 イエスの環境 第4回 イエスの宣教 第5回 イエスの苦しみ 第6回 十字架の死 第7回 イエスの名 第8回 中間テスト 第9回 聖書の紹介 第10回 旧約聖書の内容 第11回 旧約聖書のテーマ 第12回 聖書の連続性 第13回 クリスマン信仰の核 第14回 プレーズ・ワークショップ 第15回 特講		
進め方	毎回初めに、芸術的に教会の歴史と一体性を体験するために賛美歌一曲を一緒に歌います。つづいて授業計画に基づい たパワーポイント講義を行います。最後にその日の講義に関するミニクイズを行います。それらは中間と期末テストの 基礎となります。		
テキスト	聖書（新共同訳） 賛美歌	参考文献	アリストター・マッグラス「総説 キリスト教」キリス ト新聞社。
評価方法	出席（毎回ミニクイズ）：30% チャペルレポート（5回）：20% 中間テスト：25% 期末テスト：25%		

キリスト教学Ⅰ		前期 2 単位	1年
聖書における創造と出会い		及川 信（おいかわ しん）	
ねらい	旧約聖書の創世記の天地創造物語とアブラハム物語を学び、新約聖書との繋がりを確認する。神と人の出会いと交わり について考える。		
授業計画	【前期】 第1回 聖書の成り立ち・構造・歴史 第2回 天地創造 1 第3回 天地創造 2 第4回 天地創造 3（人間） 第5回 天地創造 4（墮罪） 第6回 天地創造 5（楽園追放） 第7回 天地創造（ノアの洪水・バベルの塔） 第8回 アブラハム物語 1 第9回 アブラハム物語 2 第10回 イエスと出会った人々 1 第11回 イエスと出会った人々 2 第12回 イエスと出会った人々 3 第13回 イエスと出会った人々 4 第14回 イエスと出会った人々 5 第15回 試験		
進め方	講義の最後に短い感想レポートを書いてもらう。次の授業はレポートへの応答から始める。映画なども活用するので遅 刻をしないように。		
テキスト	日本聖書協会『新共同訳聖書』	参考文献	
評価方法	出席：40% 授業レポート：30% 期末レポート：20% 学校礼拝出席：10%		

キリスト教学Ⅰ		前期 2 単位	1年
キリスト教会が刻んだ2008年の歴史・与えられている希望と課題		菊地 純子（きくち じゅんこ）	
ねらい	①青山学院の背骨であるキリスト教と出会うこと：体験学習②大学生として学問的にキリスト教を学ぶこと：リサーチ。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業のオリエンテーション、各自担当テーマを選択。 第2回 図書館オリエンテーション、各学生の担当テーマ決定。 第3回 講義：聖書入門：各学生の担当テーマの発表要旨提出日 第4回 テーマ（1）礼拝の場：教会建築の歴史 第5回 テーマ（2）礼拝の音楽の歴史 第6回 講義：テーマ（1）とテーマ（2）について 第7回 テーマ（3）キリスト教と絵画・彫刻 第8回 講義：テーマ（3）について 第9回 テーマ（4）キリスト教会の歴史 第10回 テーマ（5）キリスト教と文学 第11回 講義：テーマ（4）とテーマ（5）について 第12回 テーマ（6）旧約聖書を読む。 第13回 テーマ（7）新約聖書を読む。 第14回 講義：テーマ（6）とテーマ（7）について 第15回 まとめの授業		
進め方	講師の示すテーマの中から各自が選んだものが各自の当科目の課題。その研究成果は授業中に発表、教師から補足が行われ、最後に全員がそのテーマに関しミニレポート書く。聖書から4箇所選んで通読し、まとめて学期末に提出。以上リサーチ部分。体験学習は、学校礼拝に五回以上出席し、日付と担当教師の氏名を記して期末に提出。		
テキスト	聖書（旧約と新約両方必要）。讃美歌＋讃美歌第二編＋ともにうたおう。共に購買会で発売。その他、毎回の資料を整理するためのファイル。	参考文献	図書館の使い方のオリエンテーションで文献の検索を学ぶ。またテーマ別に担当者の相談に応じる。授業時に随時紹介。
評価方法	2/3の出席+出席回数:20% 2/3の出席+主題説明:10% 2/3の出席+発表要旨:10% 2/3の出席+発表:20% 2/3の出席+レポート:20% 2/3の出席+礼拝出席:20%		

キリスト教学Ⅰ		前期 2 単位	1年
キリスト教と現代世界		佐久本 正志（さくもと まさし）	
ねらい	西欧を含めた現代世界を理解するためには、その源泉のひとつであるキリスト教信仰の理解が必要である。そして、その根幹をなす聖書の研究と教会史を含めた歴史的展開の把握が肝要となる。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 天地創造物語 第2回 出エジプトからカナン定着まで 第3回 預言者 第4回 イエスと神の国 第5回 十字架と復活 第6回 イエスと弟子たち 第7回 キリスト教の成立と聖書聖典化 第8回 初代教会 第9回 宗教改革 第10回 教派の出現 第11回 アメリカ大陸のキリスト教 第12回 キリスト教と日本 第13回 キリスト教の暦と行事 第14回 諸宗教との対話 第15回 試験		
進め方	聖書や資料を読み、聖書の言葉が現在に生きる私たちにとって、どのような生き方を提示しているかを考えながら、考える力、表現する力を養うことをめざしたい。授業の終わりには感想レポートを書き、提出してもらおう。		
テキスト	日本聖書協会『新共同訳聖書』 日本基督教団出版局『讃美歌』（第二編と「ともにうたおう」付き）	参考文献	授業時に随時紹介する。
評価方法	出席:30% レポート:35% 試験:25% その他:10%		

キリスト教学 I		前期 2 単位	1年
はじめて聖書を手にする方々への聖書入門を主眼とする。		宍戸 基男 (ししど もとお)	
ねらい	神が聖書を通して語っている内容を学んでいく。		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業の進め方および図書館のオリエンテーション</p> <p>第2回 聖書概説 (旧約聖書と新約聖書)</p> <p>第3回 神は語る (1) 自然について</p> <p>第4回 神は語る (2) 人間について</p> <p>第5回 神は語る (3) 歴史について</p> <p>第6回 学生発表 (1)</p> <p>第7回 神は語る (4) イエ・キリストを通して。たとえ話</p> <p>第8回 神は語る (5) イエ・キリストを通して。 失われた人間との出会い (1)</p> <p>第9回 神は語る (6) イエ・キリストを通して。 失われた人間との出会い (2)</p> <p>第10回 学生発表 (2)</p> <p>第11回 神は語る (7) イエ・キリストを通して。山上の説教 (1)</p> <p>第12回 神は語る (8) イエ・キリストを通して。山上の説教 (2)</p> <p>第13回 神は語る (9) イエ・キリストを通して。十字架</p> <p>第14回 学生発表 (3)</p> <p>第15回 学生発表 (4)</p>		
進め方	1. 講義 2. 学生の発表 3. 期末レポート (以上教室学習) 4. 学校あるいはキリスト教会の礼拝に5回以上出席し、日付と担当教師の氏名を記し、期末に提出。(以上体験学習)		
テキスト	聖書、讃美歌	参考文献	講義の中で指示
評価方法	出席 (3分の2以上):30% 発表:15% 期末レポート:30% 礼拝レポート (5回以上):15% 日めくりカレンダー製作:10%		

キリスト教 I	前期 2 単位	1年
現代世界とキリスト教	野村 祐之 (のむら ゆうし)	
<p>【ねらい】 人類の3人に1人はキリスト教徒（仏教は17人に1人）。聖書に示された唯一絶対の創造主を信仰するユダヤ教、イスラームも合わせると、全人類の半分以上は聖書の世界観を前提に日常生活を送っているのが現代世界です。この授業ではキリスト教の視点から聖書の中心思想を解明し、その具体的実践としての教会、個人の日常生活、さらには現代世界についての理解を深めます。</p> <p>【授業計画】 前期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1回 オリエンテーション：聖書、キリスト教と日本語 第 2回 世界のキリスト教、キリスト教の暦を知ってますか 第 3回 キリスト教と聖書：「何も足さない、何も引かない」 第 4回 目次から解読する聖書の世界。 第 5回 礼拝の形式と意味 第 6回 「過去・現在・未来」聖書は歴史をどう見るか（歴史観） 第 7回 新約聖書の世界と「主イエス・キリスト」 第 8回 教会の誕生とペンテコステ〔聖霊降臨日〕。 第 9回 聖書は世界をどう見るか。一週間はなぜ7日？（世界観） 第10回 旧約聖書の世界と「神の義・審き・律法（十戒）」 第11回 新約聖書の世界と「神の愛・赦し・信仰と希望と愛と」 第12回 愛の諸相「エロース・フィリア・アガペー」 第13回 「善いサマリア人」のたとえの謎を解く 第14回 まとめ（テストの場合はこのときに）。 第15回 教会堂とキリスト教美術。 <p>【進め方】 講義形式が中心になりますが視覚教材などを多用し、学生のみなさんの関心事、質問、意見などを反映させ、コミュニケーション豊かな授業づくりを目指します。</p> <p>【テキスト】 新・旧約聖書（基本的に「新共同訳」を使いますが、その他のどの訳、何語のものでも、旧新約そろいのものであればかまいません。）・賛美歌（短大指定のもの）。</p> <p>【参考文献】 授業時に指示、あるいは必要に応じてプリントを準備します。</p> <p>【評価方法】 授業出席（重視）：35% 平常点（レクチャーシート）：25% レポートまたはテスト：25% 礼拝出席レポート：15%</p>		

キリスト教学Ⅰ		前期 2 単位	1年
キリストと出会うーキリスト教入門		吉岡 康子 (よしかか やすこ)	
ねらい	クリスマス・イースター・バレンタインデー・ハロウィンなどなど私たちの毎日の生活や人生にキリスト教は大きな影響を与えています。イエス・キリストへの信仰を土台とした青山学院に入学した機会をいかしてキリスト教の信仰・思想・文化・芸術などを知り、より豊かな学生生活と人生の土台を築きましょう。		
授業計画	【前期】 第1回 人は何を信じて生きるのか 第2回 キリスト教会とは① 第3回 キリスト教会とは② 第4回 旧約聖書に親しむ① 第5回 旧約聖書に親しむ② 第6回 新約聖書に親しむ① 第7回 新約聖書に親しむ② 第8回 文学から見るキリスト教 第9回 音楽から見るキリスト教 第10回 映画から見るキリスト教 第11回 聖書における人間理解① 第12回 聖書における人間理解② 第13回 生命倫理から見るキリスト教 第14回 死への準備教育① 第15回 死への準備教育②		
進め方	講義が中心となるが、ビデオや音楽鑑賞、さらに礼拝出席など様々な角度からキリストとキリスト教に出会う事を目指す。		
テキスト	新共同訳『聖書』『讃美歌(第二編・ともにうたおう付き)』	参考文献	授業の中で提示
評価方法	出席:40% 授業への参加度:10% 期末レポート:35% 小レポート:15%		

キリスト教学Ⅱ		後期 2 単位	2年
キリスト教の歴史。教会の生き方と活動。キリスト教と現代世界とその関係。		シェロ マイク (SHERRILL, M. J.)	
ねらい	キリスト教の歴史と文化論、教会の伝統と習慣、それぞれの本質について学び、クリスチャン信仰と現在教会の在り方と生き方が深く理解出来るようになることを目指しています。		
授業計画	【後期】 第1回 始めのキリスト教 第2回 ケルトのキリスト教 第3回 中世のキリスト教 第4回 宗教改革 第5回 アナバプテスト宗教改革 第6回 現代のキリスト教 第7回 映画：ジーザスフィルム 第8回 中間テスト 第9回 礼拝と儀式 第10回 クリスマス 第11回 黒人霊歌 第12回 世界中のキリスト教 第13回 キリスト教の芸術 第14回 イースター 第15回 特講		
進め方	毎回初めに、芸術的に教会の歴史と一体性を体験するために賛美歌一曲を一緒に歌います。つづいて授業計画に基づいたパワーポイント講義を行います。最後にその日の講義に関するミニクイズを行います。それらは中間と期末テストの基礎となります。		
テキスト	聖書(新共同訳) 賛美歌	参考文献	アリストアー・マッグラス「総説 キリスト教」キリスト新聞社。
評価方法	出席(毎回ミニクイズ):30% チャペルレポート(5回):20% 中間テスト:25% 期末テスト:25%		

キリスト教学Ⅱ		後期 2 単位	2年
イエスの生涯		及川 信 (おいかわ しん)	
ねらい	新約聖書の福音書を通して、イエスの生涯を辿る。前提となる罪とは何かを知るために旧約聖書の創世記も学ぶ。		
授業計画	【後期】 第1回 天地創造 第2回 人間の創造 第3回 墮罪 第4回 アブラハム物語 第5回 イエス・キリストの登場 第6回 クリスマス物語1 第7回 クリスマス物語2 第8回 イエスの生涯 1 第9回 イエスの生涯 2 第10回 イエスの生涯 3 第11回 イエスの生涯 4 第12回 イエスの生涯 5 第13回 十字架 第14回 復活 第15回 試験		
進め方	講義の最後に簡単な感想レポートを提出。次の授業はそのレポートへの応答から始める。映画なども活用するので遅刻をしないように。聖書は毎回持参。		
テキスト	日本聖書協会『新共同訳聖書』	参考文献	
評価方法	出席:40% 感想レポート:30% 期末レポート:20% 大学礼拝:10%		

キリスト教学Ⅱ		後期 2 単位	2年
「聖書の価値観」、「私の価値観」		菊地 純子 (きくち じゅんこ)	
ねらい	①卒業を前に青山学院の背骨であるキリスト教と出会うこと②聖書の価値観の理解に努め、自分の価値観を比較検討する。		
授業計画	【後期】 第1回 授業のオリエンテーション、各自担当テーマ選択。 第2回 講義：聖書を読む。各学生の担当テーマ決定。 第3回 講義：キリスト教の教え。担当テーマの発表要旨提出。 第4回 中間発表：(1)キリスト教会の礼拝 第5回 講義：テーマ(1)の中間発表とミニレポートへの応答 第6回 中間発表：(2)キリスト教と倫理(1)いのち 第7回 講義：テーマ(2)の中間発表とミニレポートへの応答 第8回 中間発表：(3)キリスト教倫理(2)平等、差別、区別 第9回 講義：テーマ(3)の中間発表とミニレポートへの応答 第10回 中間発表：(4)キリスト教と倫理(3)家庭、結婚 第11回 講義：テーマ(4)の中間発表とミニレポートへの応答 第12回 中間発表：(5)キリスト教と倫理(4)人生、職業 第13回 講義：テーマ(5)の中間発表とミニレポートへの応答 第14回 中間発表(6)キリスト教と倫理(5)世界の中での日本 第15回 講義：テーマ(6)の中間発表とミニレポートへの応答		
進め方	授業計画で示されたテーマから各自の興味でテーマを選び、決定されたものを自分の課題として学び、授業中に発表する。教師からの補足が行われ、最後に全員がミニレポートを書き、学期末にはレポートを作成。学校礼拝に五回以上出席し、日付と担当教師の氏名を記して期末レポートに付けて提出。		
テキスト	聖書(旧約と新約両方必要)。讃美歌+讃美歌第二編+ともいうたおう。共に購買会で発売。その他、毎回の資料を整理するためのファイル。	参考文献	テーマ別に担当者の相談に応じる。授業時に随時紹介。
評価方法	2/3出席+出席回数:20% 2/3出席+主題説明:10% 2/3出席+発表要旨:10% 2/3出席+中間発表:20% 2/3出席+レポート:20% 2/3出席+礼拝出席:20%		

キリスト教学Ⅱ		後期 2 単位	2年
キリスト教と現代世界		佐久本 正志 (さくもと まさし)	
ねらい	西欧を含めた現代世界を理解するためには、その源泉のひとつであるキリスト教信仰の理解が必要である。そしてその根幹をなす聖書の研究と教会史を含めた歴史的展開の把握が肝要となる。		
授業計画	【後期】 第1回 天地創造物語 第2回 出エジプトからカナン定着まで 第3回 預言者 第4回 イエスと神の国 第5回 十字架と復活 第6回 イエスと弟子たち 第7回 キリスト教の成立と聖書聖典化 第8回 初代教会 第9回 宗教改革 第10回 教派の出現 第11回 メリカ大陸のキリスト教 第12回 キリスト教と日本 第13回 キリスト教の暦と行事 第14回 諸宗教との対話 第15回 試験		
進め方	聖書や資料を読み、聖書の言葉が現在に生きる私たちにとって、どのような生き方を提示しているかを考えながら、考える力、表現する力を養うことをめざしたい。授業の終わりには感想レポートを書き、提出してもらおう。		
テキスト	日本聖書協会『新共同訳聖書』 日本基督教団出版局『讚美歌』（第二編と「ともにおうたおう」付き）	参考文献	授業時に随時紹介する。
評価方法	出席:30% レポート:35% 試験:25% その他:10%		

キリスト教学Ⅱ		後期 2 単位	2年
キリストの語る山上の説教を学ぶ		穴戸 基男 (ししど もとお)	
ねらい	社会に出るにあたり、聖書の倫理観を学ぶ。人前で発表できる能力を身につける。		
授業計画	【後期】 第1回 授業のオリエンテーション 第2回 「心の貧しい人は幸いである」 第3回 「悲しむ人は幸いである」 第4回 「柔和な人は幸いである」 第5回 学生発表 (1) 第6回 「あわれみ深い人は幸いである」 第7回 「心の清い人は幸いである」 第8回 「平和を実現する人は幸いである」 第9回 学生発表 (2) 第10回 「義のために迫害される人々は幸いである」 第11回 「あなた方は地の塩、世の光である」 第12回 「姦淫の罪」 第13回 学生発表 (3) 第14回 学生発表 (4) 第15回 学生発表 (5)		
進め方	1. 講義 2. 学生の発表 3. 期末レポート(以上教室学習) 4. 学校あるいはキリスト教会の礼拝に5回以上出席し、日付と担当教師の氏名を記し、期末に提出。(以上体験学習)		
テキスト	聖書、讚美歌、『幸福への八つの態度』（カンカークロス出版）	参考文献	『山上の説教』（加藤常昭）ヨルダン社、『キリストに従う』（ボンヘッファー）新教出版社
評価方法	出席（3分の2以上）:30% 発表:15% 期末レポート:30% 礼拝レポート（5回以上）:15% 日めくりカレンダー製作:10%		

キリスト教学Ⅱ	後期 2 単位	2年
聖書の教えに照らして現代世界の日常生活を見てみよう。	野村 祐之（のむら ゆうし）	
<p>【ねらい】 一年生前期のキリスト教学で得た基本的な理解をさらに展開し、聖書、キリスト教の教えが現代世界の日常生活とどう結びついているかを具体的な事例を通して学びます。コースの前半では、要点をまとめて聖書理解のツボを再確認します。後半ではそれをふまえて、研究発表をしてもらいます。</p> <p>【授業計画】 【後期】 第 1回 オリエンテーション・研究発表のテーマについて。 第 2回 現代の日本社会、世界とキリスト教。 第 3回 聖書の「世界観」とエコノミー・エコロジー。 第 4回 キリスト教の「時間観、歴史観」は21世紀にも有効か。 第 5回 キリスト教の「人間観」と現代人 第 6回 聖書の「愛」と現代。「チャリティ」をキーワードに。 第 7回 今回からは、毎週、3、4テーマについて小グループ、 第 8回 個人での研究発表とし、各発表ごとに質疑応答 第 9回 意見交換をし、教員からのコメントを付していきます 第10回 " 第11回 " 第12回 " 第13回 " 第14回 " 第15回 まとめ</p> <p>【進め方】 前半は講義形式、後半は小グループあるいは個人単位でテーマを見つけての研究発表。</p> <p>【テキスト】 旧・新約聖書（基本的には新共同訳を使いますが、どの訳、何語でもかまいません）、賛美歌。</p> <p>【参考文献】 必要に応じて授業時に指示します。</p> <p>【評価方法】 出席リスponcスシート 40%、研究発表／事後レポート 40%、礼拝出席レポート 20%</p>		

キリスト教学Ⅱ		後期 2 単位	2年
生きること・愛すること・死ぬこと		吉岡 康子（よしおか やすこ）	
ねらい	健康でお金があれば幸せなのでしょうか。恋愛と愛はどう違うのでしょうか。結婚して子どもを産むのが「当たり前」なのでしょうか。「ドナー」になってほしいと言われたらどうしますか。人は死んだらどこに行くのでしょうか・・・。私たちの人生における疑問・課題についてキリスト教信仰から一緒に考えてみましょう。		
授業計画	【後期】 第1回 人は何を信じて生きるのか 第2回 キリスト教信仰の基礎① 第3回 キリスト教信仰の基礎② 第4回 キリスト教信仰の基礎③ 第5回 聖書における人間理解① 第6回 聖書における人間理解② 第7回 愛する事① 第8回 愛する事② 第9回 いのちをめぐる諸問題① 第10回 いのちをめぐる諸問題② 第11回 他宗教のアプローチ 第12回 死への準備教育① 第13回 死への準備教育② 第14回 死への準備教育③ 第15回 まとめ—本当の「おとな」になるために		
進め方	講義が中心となるが、ビデオ鑑賞、グループディスカッションなども行なう。		
テキスト	新共同訳『聖書』『讚美歌(第二編・ともにうたおう付き)』	参考文献	授業の中で提示
評価方法	出席:40% 授業への参加度:15% 期末レポート:30% 小レポート:15%		